

《宮城県原子力防災訓練に参加しました》

10月29日、宮城県と女川原子力発電所から30km圏内の7市町*が主催する「令和4年度原子力防災訓練」が実施され、当発電所員をはじめとする社員・協力企業従業員が参加しました。訓練では、三陸沖を震源とする地震が発生し、女川原子力発電所2号機において外部電源の喪失や機器の故障などにより、原子炉の冷却機能が喪失し、放射性物質が大気に放出されたとの想定のもと、住民避難訓練や原子力災害医療活動訓練が行われました。

当発電所員は、避難退域時検査等場所において、避難してきた方々の車両や身体への放射性物質による汚染状況を確認し、それが基準値以下であることを確認する検査、発電所建屋内で発生した汚染傷病者の初期手当てや石巻広域消防救急隊への引き渡しなどを行いました。*女川町、石巻市、登米市、東松島市、涌谷町、美里町、南三陸町



私は、今回の訓練に車両検査チームの一員として参加しました。空間放射線量が高くなった地域から避難してきたと想定した約40台の車両1台1台の汚染状況を迅速かつ丁寧に検査することで、日ごろの訓練で習得した対応手順を確認しました。今後とも、各種訓練を重ねて、原子力防災に資するよう努めてまいります。

加藤 哲朗 環境・燃料部 輸送・固体廃棄物管理グループ



車両の汚染状況を確認



汚染傷病者の初期手当て

《「おながわ秋の収穫祭2022」に参加しました》

10月23日、「おながわ秋の収穫祭2022」が女川町海岸広場で開催され、当発電所員18名が準備・運営スタッフとして参加しました。また、秋の収穫祭を、より一層盛り上げたいとの思いから、当発電所主催イベントとして、「女川原子力発電所プチ芸術祭」と「ミニ四駆女川CUP」を開催しました。

今後も所員一人ひとりが地域の一員として、地元のお祭りや行事に積極的に参加・協力してまいります。

おながわ秋の収穫祭



当発電所員も運営スタッフとして参加し、炭火焼きのサンマを提供

神楽・獅子舞などが披露されたステージイベント

女川原子力発電所プチ芸術祭



当発電所員が講師を務め、キャンバスインテリアなどを制作

ミニ四駆女川CUP



延べ146名のレーサーが参加し、全長170mの巨大コースで熱戦を展開

《女川原子力PRセンター「収穫祭」を開催しました》

10月29日、30日の両日、女川原子力PRセンターにおいて、収穫祭を開催しました。433名の皆さまに参加いただき、PRセンター敷地内で育てた「りんご、さつまいも、だいこん」の収穫を楽しんでいただきました。



秋の果物や野菜を収穫

《「東北電力杯 グラウンド・ゴルフ大会」を開催しました》

10月12日、女川町第二多目的運動場においてグラウンド・ゴルフ大会を開催しました。78名の皆さまに参加いただき、秋晴れの心地よい気候のもと、プレーを楽しんでいただきました。



大会に参加いただいた女川・牡鹿地区の皆さま



プレーを楽しむ参加者

グラウンド・ゴルフとは

専用の木製クラブ、ボール、ホールポストなどを使用して、ゴルフのようにボールをクラブで打ち、ホールポストにホールインするまでの打数を数えます。

場所によって距離やホールポストの数を自由に設定でき、ルールも簡単のため、どこでも誰でも手軽に楽しむことができます。また、ホールインワンを一回達成するごとに総スコアから3打マイナスするという特典が設けられており、プレイヤーの励みと意欲を高める工夫がなされています。

「女川町の魅力再発見動画 第5弾」公開中

～ONAGAWA enJOINUS～

特定非営利活動法人アスヘノキボウ(女川町)と当発電所員有志が協働制作した、「女川町の魅力再発見動画」の最終回となる第5弾が同法人YouTubeチャンネルで公開中です。女川町の魅力が詰まった内容となっておりますので、ぜひご視聴ください。

動画視聴はコチラ



女川スタジアム

大迫力の試合を観戦できるスタジアム



女川温泉ゆぼっぼ

湧き出る源泉は通称「美人の湯」女川駅に併設された町民憩いの場



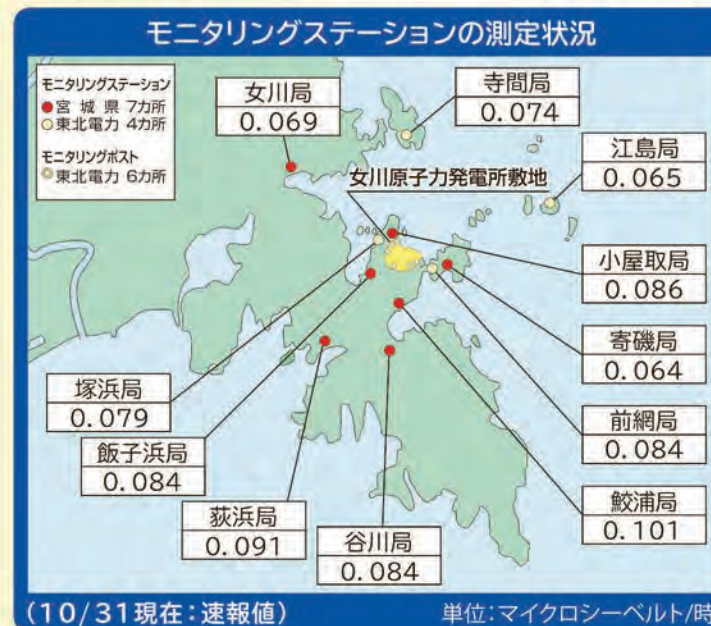
おながわみなと祭り

12年ぶりに復活した町民待望の祭り

《女川原子力発電所周辺の放射線量は安定しています》

女川原子力発電所周辺の放射線はモニタリングポスト※1やモニタリングステーション※2で測定・監視しており、その測定値は宮城県および当社ホームページで公開しています。

発電所敷地内に設置してあるモニタリングポストの2022年10月31日の測定値は、最大で0.046マイクロシーベルト/時程度で安定しており、健康に影響を与えるレベルではありません。



(参考)モニタリングポストの最小値と最大値※3

| 〈東北地方太平洋沖地震発生日〉 | 最小値 | 最大値 |
|------------------------------|-------|-------|
| 2011年3月11日 | 0.027 | 0.064 |
| 〈地震発生後最大値〉 | | |
| 2011年3月13日 | 1.8 | 21※4 |
| 〈地震発生から2年と至近2年の(4/1)値および前月値〉 | | |
| 2012年4月1日 | 0.063 | 0.098 |
| 2013年4月1日 | 0.055 | 0.076 |
| 2021年4月1日 | 0.034 | 0.047 |
| 2022年4月1日 | 0.033 | 0.045 |
| 2022年10月1日 | 0.034 | 0.046 |
| 2022年10月31日 | 0.034 | 0.046 |

単位:マイクロシーベルト/時

※1 モニタリングポストは発電所敷地周辺の環境放射線を測定しています。女川原子力発電所の敷地境界には6基のモニタリングポストが設置されています。

※2 モニタリングステーションは環境放射線に加えて気象データを測定しています。

※3 モニタリングポストの測定値は、宇宙線(宇宙空間を飛び交う高エネルギーの放射線)の影響分が含まれないため、モニタリングステーションの測定値より0.02～0.04マイクロシーベルト/時程度低い測定値となっています。

※4 東京電力福島第一原子力発電所からの放射性物質の放出に伴い測定されたもので、測定された時間は約10分間です。再生紙を利用しています

